

(様式第9)

岡大病院第108号
平成24年10月2日

厚生労働大臣

殿

岡山大学病院長

横野博史

岡山大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和23年法律第205号）第12条の3の規定に基づき、平成23年度の業務について報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照（様式第10）
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照（様式第11）
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	76.6人
--------	-------

（注）前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照（様式第12）
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照（様式第13）

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医 師	265人	281人	459.8人	看 譲 補 助 者	40人	診 療 エ ッ クス 線 技 師	0人
歯 科 医 師	100人	109人	151.3人	理 学 療 法 士	21人	臨 床 檢 查 技 師	74人
薬 剤 師	59人	0人	59.0人	作 業 療 法 士	5人	衛 生 檢 查 技 師	0人
保 健 師	0人	0人	0人	視 能 訓 練 士	7人	そ の 他	0人
助 産 師	25人	2人	26.2人	義 肢 装 具 士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	937人	37人	961.8人	臨 床 工 学 技 士	23人	医 療 社 会 事 業 従 事 者	6人
准 看 護 師	0人	0人	0人	栄 养 士	0人	そ の 他 の 技 術 員	23人
歯 科 衛 生 士	18人	0人	18.0人	歯 科 技 工 士	8人	事 務 職 員	318人
管 理 栄 养 士	7人	0人	7.0人	診 療 放 射 線 技 師	50人	そ の 他 の 職 員	92人

（注）1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。

3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 计
1日当たり平均入院患者数	675.9人	19.3人	695.1人
1日当たり平均外来患者数	1,756.8人	634.1人	2,390.8人
1日当たり平均調剤数		1,192.9 剤	

（注）1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。

2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数（毎日の24時現在の在院患者数の合計）を曆日で除した数を記入すること。

3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ曆日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
インプラント義歯	6人
光学印象採得による陶材歯冠修復法	0人
骨髄細胞移植による血管新生療法	0人
鏡視下肩峰下腔除圧術	0人
超音波骨折治療法	0人
腹腔鏡下直腸固定術	1人
先天性難聴の遺伝子診断	1人
大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術	26人
IL28Bの遺伝子診断によるインターフェロン治療効果の予測評価	0人
根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援	20人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示
第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
頸部内視鏡手術	0人
経皮的骨形成術	0人
経皮的肺がんラジオ波焼灼療法	18人
経皮的腎がんラジオ波焼灼術	0人
CTガイド下経皮的骨腫瘍ラジオ波焼灼法	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示
第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	生体部分肺移植	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要			
肺移植は末期肺疾患に対する有効な治療法である。健康な2人のドナーから肺の一部の提供を受け、レシピエントに移植する。1人目のドナーから右下葉を、2人目のドナーから左下葉を摘出し、それぞれをレシピエントの右肺、左肺として移植する術式である。			
医療技術名	生体部分肝移植	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要			
肝移植は末期肝疾患並びに急性肝不全(劇症肝炎など)に対する有効な治療法であり、当院では豊富な経験のもとに良好な実績を積んでいる。			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱患者数	疾 患 名	取扱患者数
・ベーチェット病	131人	・膿疱性乾癥	14人
・多発性硬化症	65人	・広範脊柱管狭窄症	17人
・重症筋無力症	130人	・原発性胆汁性肝硬変	105人
・全身性エリテマトーデス	297人	・重症急性胰炎	2人
・スモン	12人	・特発性大腿骨頭壞死症	109人
・再生不良性貧血	57人	・混合性結合組織病	44人
・サルコイドーシス	145人	・原発性免疫不全症候群	12人
・筋萎縮性側索硬化症	73人	・特発性間質性肺炎	45人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	241人	・網膜色素変性症	47人
・特発性血小板減少性紫斑病	74人	・プリオント病	6人
・結節性動脈周囲炎	84人	・肺動脈性肺高血圧症	47人
・潰瘍性大腸炎	347人	・神経線維腫症	44人
・大動脈炎症候群	36人	・亜急性硬化性全脳炎	1人
・ビュルガー病	26人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	5人
・天疱瘡	43人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	10人
・脊髄小脳変性症	94人	・ライソゾーム病	3人
・クローン病	134人	・副腎白質ジストロフィー	4人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	2人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1人
・悪性関節リウマチ	27人	・脊髄性筋委縮症	5人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	409人	・球脊髄性筋委縮症	8人
		・慢性炎症性脱髓性多発神経炎	15人
・アミロイドーシス	11人	・肥大型心筋症	12人
・後縦靭帯骨化症	116人	・拘束型心筋症	0人
・ハンチントン病	5人	・ミトコンドリア病	6人
・モヤモヤ病(ウィルス動脈輪閉塞症)	104人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	15人
・ウェグナー肉芽腫症	19人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	3人
・特発性拡張型(うつ血型)心筋症	127人	・黄色靭帯骨化症	5人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリーブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	65人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH 分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	171人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	5人		

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・胎児心超音波検査	・
・乳がんセンチネル検査	・
・悪性黒色腫センチネル検査	・
・強度変調放射線治療	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	【病理診断部門】 ・剖検症例検討会 月1回程度 ・消化器内科+消化管外科とのカンファレンス 週1回程度 ・乳腺・内分泌外科とのカンファレンス 年4回程度 ・脳神経外科との脳腫瘍カンファレンス 月1回程度 ・婦人科との婦人科腫瘍カンファレンス 週1回程度 ・頭頸部キヤンサーボード 週1回程度 【臨床検査部門】 ・総合診療内科との症例検討会 月1回程度
剖 檢 の 状 況	剖検症例数 14 例 / 剖検率 7.2 %

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

(1 / 25)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
肝疾患の治療反応性と予後に関する遺伝子素因の解析	池田 房雄	消化器内科	千円 50	補 文部科学省科学研究費補助金 委
HCV関連肝移植における新たな細胞免疫療法の開発	高木 章乃夫	消化器内科	800	補 文部科学省科学研究費補助金 委
新規パラメーターを用いた肝癌化療法効果予測	能祖 一裕	消化器内科	1,500	補 文部科学省科学研究費補助金 委
iPS細胞由来肝細胞を用いた肝不全治療法の確立	山本 和秀	消化器内科	21,000	補 文部科学省科学研究費補助金 委
肝がんの新規治療法に関する研究	山本 和秀	消化器内科	2,000	補 厚生労働科学硏究費補助金 委
血小板低値例へのインターフェロン治療法の確立を目指した基礎及び臨床的研究	山本 和秀	消化器内科	800	補 厚生労働科学硏究費補助金 委
進行・再発肝細胞癌に対する動注化学療法と分子標的薬併用による新規治療法の確立を目指した臨床進行・再発肝細胞癌に対する動注化学療法と分子標的薬併用による新規治療法の確立を目指した臨床試験(PhaseI/IIおよびphaseII)ならびに効果を予測するbiomarkerの探索研究 進行肝がんに対する動注化学療法 肝細胞癌の遺伝子変異に関する研究	山本 和秀	消化器内科	800	補 厚生労働科学硏究費補助金 委
B型肝炎ジノタイプA型感染の慢性化など本邦における実態とその予防に関する研究	山本 和秀	消化器内科	1,000	補 厚生労働科学硏究費補助金 委
新規循環がん細胞検出による肝細胞癌テラメード治療法の確立	中村 進一郎	消化器内科	600	補 文部科学省科学研究費補助金 委
肝癌におけるNotchシグナルをターゲットとした新規腫瘍血管新生抑制療法の開発	白羽 英則	消化器内科	1,200	補 文部科学省科学研究費補助金 委
難治性血管炎に関する調査研究	槇野 博史	腎臓・糖尿病・内分泌内科	47,692	補 厚生労働科学硏究費補助金 委
戦略研究(腎疾患重症化予防のための戦略研究)	槇野 博史	腎臓・糖尿病・内分泌内科	800	補 厚生労働科学硏究費補助金 委
糖尿病性腎症の病態解明と新規治療法確立のための評価法の開発	槇野 博史	腎臓・糖尿病・内分泌内科	500	補 厚生労働科学硏究費補助金 委
糖尿病性腎症治療ターゲットとしての核内受容体の研究	槇野 博史	腎臓・糖尿病・内分泌内科	8,000	補 文部科学省科学研究費補助金 委
生活習慣病増悪フェーズの健分子「HMGB1」に対する分子標的抗体薬の臨床応用研究	槇野 博史	腎臓・糖尿病・内分泌内科	500	補 厚生労働科学硏究費補助金 委
vaspinのメタボリック症候群における意義と創薬への展開	和田 淳	腎臓・糖尿病・内分泌内科	5,500	補 文部科学省科学研究費補助金 委

小計 16件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

(2/25)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
脂肪蓄積を制御する膜蛋白同定とその可溶性分泌型のアディポサイトカインとしての意義	和田 淳	腎臓・糖尿病・内分泌内科	千円 2,700	補 文部科学省科学研 究費補助金 委
糖尿病性腎症治療ターゲットとしての核内受容体の研究	和田 淳	腎臓・糖尿病・内分泌内科	1,500	補 文部科学省科学研 究費補助金 委
進行性腎障害に関する調査研究	杉山 齊	腎臓・糖尿病・内分泌内科	1,000	補 厚生労働科学研究 費補助金 委
慢性腎臓病における内因性バゾヒンファミリーの腎保護効果と臨床的意義に関する検討	前島 洋平	腎臓・糖尿病・内分泌内科	1,500	補 文部科学省科学研 究費補助金 委
難治性血管炎に関する調査研究	佐田 憲映	腎臓・糖尿病・内分泌内科	1,800	補 厚生労働科学研究 費補助金 委
BMP-15のヒト生殖における役割と恒常活性型BMP-15の開発	稻垣 兼一	腎臓・糖尿病・内分泌内科	1,000	補 文部科学省科学研 究費補助金 委
腎性貧血における成熟赤血球膜のSHP-1発現の検討	赤木 滋	腎臓・糖尿病・内分泌内科	1,400	補 文部科学省科学研 究費補助金 委
成体腎臓幹前駆細胞からの腎臓様構造物と胎生腎を使用した発生・再生的機能解析	喜多村 真治	腎臓・糖尿病・内分泌内科	2,100	補 文部科学省科学研 究費補助金 委
腹部大動脈瘤における接着分子ICAM-1の分子機構の解明	内田 治仁	腎臓・糖尿病・内分泌内科	1,500	補 文部科学省科学研 究費補助金 委
糖尿病性腎症における核内受容体PPAR δの分子機構の解明と臨床応用	小川 大輔	腎臓・糖尿病・内分泌内科	1,700	補 文部科学省科学研 究費補助金 委
BMPに着目した下垂体腫瘍の発症機序の解明と内科治療法の開発を目指して	三好 智子	腎臓・糖尿病・内分泌内科	1,600	補 文部科学省科学研 究費補助金 委
BMP-6に着目したアルドステロン分泌の制御とその応用	塚本 尚子	腎臓・糖尿病・内分泌内科	1,600	補 文部科学省科学研 究費補助金 委
加齢によるヒト心臓内幹細胞の役割変化の包括的解析	吉田 賢司	循環器内科	2,700	補 文部科学省科学研 究費補助金 委
早期再分極(early repolarization)症候群の病態と遺伝基盤、長期予後にに関する研究	草野 研吾	循環器内科	1,300	補 厚生労働科学研究 費補助金 委
難治性不整脈の病態・機序解明と新しい治療法の確立に関する研究	草野 研吾	循環器内科	1,600	補 国立循環器病研究 センター 委
ALSの分子メカニズムの解明と遺伝子・再生療法	阿部 康二	神経内科	3,600	補 文部科学省科学研 究費補助金 委
オートファジーの分子イメージングと再生	阿部 康二	神経内科	1,800	補 文部科学省科学研 究費補助金 委
PTD融合タンパクを用いた脊髄小脳変性症の画期的治療法の開発と新規原因遺伝子同定	池田 佳生	神経内科	800	補 文部科学省科学研 究費補助金 委

小計 18件

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

(3 / 25)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
筋強直性ジストロフィーの神経特異的スプライシング異常と治療への展開	松浦 徹	神経内科	千円 1,450	文部科学省科学研 究費補助金 委
ゼラチン多孔体による新規慢性期脳梗塞再生治療	出口 健太郎	神経内科	1,200	文部科学省科学研 究費補助金 委
第4の細胞死TRIADに注目した筋萎縮性側索硬化症治療法の開発	森本 展年	神経内科	500	文部科学省科学研 究費補助金 委
希少性難治性疾患患者に関する医療の向上及び患者支援のあり方に関する研究	阿部 康二	神経内科	700	厚生労働科学研究 費補助金 委
神経変性疾患に関する調査研究	阿部 康二	神経内科	1,300	厚生労働科学研究 費補助金 委
病態に根ざしたALSの新規治療法開発	阿部 康二	神経内科	1,000	厚生労働科学研究 費補助金 委
スマンに関する調査研究班	阿部 康二	神経内科	800	厚生労働科学研究 費補助金 委
プリオントウ病及び遅発性ウイルス感染症の調査研究班	阿部 康二	神経内科	1,000	厚生労働科学研究 費補助金 委
運動失調症に関する調査研究班	阿部 康二	神経内科	800	厚生労働科学研究 費補助金 委
日本人脆弱X症候群および関連疾患の診断・治療推進の研究	松浦 徹	神経内科	1,000	厚生労働科学研究 費補助金 委
筋チャネル病および関連疾患の診断・治療指針作成および新規治療法開発に向けた基盤整備の為の研究	松浦 徹	神経内科	1,000	科学技術振興機構 委
ゼラチン多孔体による慢性期脳梗塞再生医療	出口 健太郎	神経内科	2,000	上原記念生命科学 財団 委
ヒトHER2分子の細胞外ドメインを発現する腫瘍融解ウイルスによる胃癌分子治療開発	藤原 俊義	消化管外科	6,370	文部科学省科学研 究費補助金 委
臓器移植におけるRAGEリガンドを介した新たな免疫制御システムの確立	貞森 裕	消化管外科	2,600	文部科学省科学研 究費補助金 委
蛍光発現ウイルスを用いた血中環境がん細胞の分離による高感度遺伝子解析技術の開発	香川 俊輔	消化管外科	2,340	文部科学省科学研 究費補助金 委
癌抑制遺伝子FHITのPKC制御による肺癌の浸潤・転移抑制効果の研究	西崎 正彦	消化管外科	3,250	文部科学省科学研 究費補助金 委
メチル化DNAをバイオマーカーに用いた非侵襲的のがん総合検診パラダイムの構築	永坂 岳司	消化管外科	11,440	文部科学省科学研 究費補助金 委
便中マイクロRNA検出による肺がんスクリーニング技術の開発	永坂 岳司	消化管外科	2,730	文部科学省科学研 究費補助金 委

小計 18件

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

(4 / 25)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
テロメラーゼ依存性蛍光発現ナノバイオ・ウイルス製剤を標識薬剤とする高感度リアルタイム微小癌転移イメージングシステムの開発	藤原 俊義	消化管外科	千円 44,941	補厚生労働科学研究費補助金委
光感受性ROS産生蛍光タンパク質を発現する遺伝子改変アデノウイルス製剤を用いた新たな癌の光線力学療法システムの開発	藤原 俊義	消化管外科	15,279	補厚生労働科学研究費補助金委
-がん治療のための革新的新技術の開発及び臨床応用に関する総合的な研究-がん特異的蛍光発現ウイルス製剤による診断研究	藤原 俊義	消化管外科	2,000	補厚生労働科学研究費補助金委
大腸癌におけるオキサリプラチンの末梢神経障害に対する漢方薬:牛車腎気丸の有用性に関する多施設共同二重盲検ランダム化比較検証試験(臨床第Ⅲ相試験)	藤原 俊義	消化管外科	300	補厚生労働科学研究費補助金委
ゲノムワイド関連解析を用いた革新的な肝移植後肝炎ウイルス再感染予防・治療法の確立	藤原 俊義	消化管外科	300	補厚生労働科学研究費補助金委
進行・再発膀胱癌に対する新規エピトープペプチドカクテル療法を標準化学療法の併用効果を検討する多施設共同第Ⅰ/Ⅱ相臨床試験	藤原 俊義	消化管外科	1,200	補厚生労働科学研究費補助金委
REIC/Dkk-3遺伝子治療による自己癌ワクチン化療法の基盤解析	公文 裕巳	泌尿器科	5,000	補文部科学省科学研究費補助金委
がん治療遺伝子REICによるナノバイオ標的医療の創成	公文 裕巳	泌尿器科	21,818	補特別電源所在県科学技術振興事業
小児心不全に対する細胞治療と単心室症由来人工多能性幹(iPS)細胞の樹立による次世代心筋再生医療の開発	佐野 俊二	心臓血管外科	1,000	補厚生労働省成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業
脱細胞化したマトリックスへのヒト人工心筋細胞の再播種によるバイオ人工心臓の作成	佐野 俊二	心臓血管外科	1,300	補文部科学省科学研究費補助金委
エクスプロント心由来の自己幹細胞移植による新たな心臓移植後の拒絶緩和療法の開発	新井 穎彦	心臓血管外科	1,300	補文部科学省科学研究費補助金委
骨肉腫におけるオミックス解析技術を用いた新たな抗分子標的療法の開発	尾崎 敏文	整形外科	1,200	補文部科学省科学研究費補助金委
高悪性度軟部腫瘍に対する標準的治療法の確立に関する研究	尾崎 敏文	整形外科	250	補厚生労働科学研究費補助金委
超微細手術のための汎用プラットフォーム開発とそれを支える超精密テクノロジーの追求	尾崎 敏文	整形外科	400	補文部科学省科学研究費補助金委
骨再生に優れた新しい生体吸収性骨セメントの開発	尾崎 敏文	整形外科	200	補文部科学省科学研究費補助金委

小計 15件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

(5/25)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
進化分子工学と先端接着技術の応用による脊髄損傷の新たな治療法開発への挑戦	田中 雅人	整形外科	千円 1,300	(補) 文部科学省科学研 究費補助金 委
関節構成体の再生医療における測定プローブの開発	阿部 信寛	整形外科	600	(補) 文部科学省科学研 究費補助金 委
超微細手術のための汎用プラットフォーム開発とそれを支える超精密テクノロジーの追求	阿部 信寛	整形外科	800	(補) 文部科学省科学研 究費補助金 委
我が国における関節リウマチ治療標準化に関する多層的研究	西田 圭一郎	整形外科	1,000	(補) 厚生労働科学研究 費補助金 委
CCN2のメタボリックサポーターとしての機能解明とその臨床応用研究	古松 肇之	整形外科	200	(補) 文部科学省科学研 究費補助金 委
脊柱側弯症における3次元画像解析法の開発	瀧川 朋亨	整形外科	1,300	(補) 文部科学省科学研 究費補助金 委
進化分子工学と先端接着技術の応用による骨祖鬆症の新しい骨折予防法・治療法の開発	塩崎 泰之	整形外科	1,500	(補) 文部科学省科学研 究費補助金 委
頭頸部における再建治療ガイドラインの確立	木股 敬裕	形成外科	1,000	(補) 厚生労働科学研究 費補助金 委
異性間における生殖臓器移植と生殖細胞導入の解析	難波 祐三郎	形成外科	600	(補) 文部科学省科学研 究費補助金 委
過酸化水素法による小動物のリンパ系のマクロ解剖とリンパ管変性と再生のメカニズム	木股 敬裕	形成外科	1,000	(補) 文部科学省科学研 究費補助金 委
ガラス化法によるヒト皮膚の凍結保存および常温乾燥保存	徳山 英二郎	形成外科	600	(補) 文部科学省科学研 究費補助金 委
新開発した自己集合性ペプチドゲルの創傷治癒における有効性	小松 星児	形成外科	2,400	(補) 文部科学省科学研 究費補助金 委
稀少難治性皮膚疾患に関する調査研究	岩月 啓氏	皮膚科	70,000	(補) 厚生労働科学研究 費補助金 委
難治性血管炎に関する調査研究	岩月 啓氏	皮膚科	800	(補) 厚生労働科学研究 費補助金 委
がん診療ガイドラインの作成(新規・更新)との公開の維持およびそのあり方に関する研究	岩月 啓氏	皮膚科	700	(補) 厚生労働科学研究 費補助金 委
ATL克服に向けた研究の現状調査と進捗状況把握にもとづく効率的な研究体制の構築に関する研究	岩月 啓氏	皮膚科	300	(補) 厚生労働科学研究 費補助金 委
HTLV-1キャリア・ATL患者に対する相談機能の強化と正しい知識の普及	岩月 啓氏	皮膚科	200	(補) 厚生労働科学研究 費補助金 委
ウイルス誘発上皮性腫瘍を許容する生体内微小環境とその制御	岩月 啓氏	皮膚科	1,430	(補) 文部科学省科学研 究費補助金 委

小計 18件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

(6/25)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
尋常性天疱瘡の分子病態・シグナル伝達解明とデスマソームの制御機構	青山 裕美	皮膚科	千円 2,800	文部科学省科学研 究費補助金
皮膚におけるバントンバレンタインロイコシジンの発現機構と病態形成の解明	山崎 修	皮膚科	2,990	文部科学省科学研 究費補助金
ヒトβデフェンシンのサイトカイン／ケモカイン産生誘導の決定領域	白藤 宜紀	皮膚科	1,820	文部科学省科学研 究費補助金
ヒストン脱アセチル化酵素阻害剤の獲得耐性のメカニズムの解明—その克服に向けて	藤井 一恭	皮膚科	1,170	文部科学省科学研 究費補助金
Th2環境が表皮角化細胞產生力リクレインの発現および皮膚バリアに与える影響	森実 真	皮膚科	1,300	文部科学省科学研 究費補助金
皮膚悪性腫瘍に対する抗癌剤感受性試験	大塚 正樹	皮膚科	2,080	文部科学省科学研 究費補助金
網羅的自己抗体検出系による血清胃癌マーカーの開発と臨床応用	梅村 啓史	皮膚科	1,560	文部科学省科学研 究費補助金
パーキンソン病に対するカプセル化神経幹細胞移植:post-DBS時代を見据えて	伊達 熱	脳神経外科	5,400	文部科学省科学研 究費補助金
脳血管障害研究の新展開【脳血管障害とCCNファミリー分子CYR61】	伊達 熱	脳神経外科	900	文部科学省科学研 究費補助金
グリオーマに対する腫瘍溶解ウイルス療法における血管新生因子CYR61の発現影響	杉生 憲志	脳神経外科	1,100	文部科学省科学研 究費補助金
もやもや病に対するVEGF遺伝子導入と骨髄幹細胞移植のダブル治療	徳永 浩司	脳神経外科	900	文部科学省科学研 究費補助金
パーキンソン病はDBSで治るのか?: バイオマーカーによる治療効果予測と共に	三好 康之	脳神経外科	700	文部科学省科学研 究費補助金
分子標的治療薬を用いた脳梗塞に対する遺伝子細胞療法	小野 成紀	脳神経外科	1,400	文部科学省科学研 究費補助金
グリオーマ動物モデルを用いたグリオーマ幹細胞ニッチと増殖・浸潤・血管新生の解明	市川 智継	脳神経外科	1,100	文部科学省科学研 究費補助金
悪性グリオーマに対する腫瘍溶解性ウイルスと抗血管新生薬との併用療法についての検討	黒住 和彦	脳神経外科	1,500	文部科学省科学研 究費補助金
頭部外傷に対する骨髓由来幹細胞動注療法	菱川 朋人	脳神経外科	900	文部科学省科学研 究費補助金
電気刺激が脳梗塞に及ぼす影響—再生医療の観点から	亀田 雅博	脳神経外科	1,000	文部科学省科学研 究費補助金
医療機器開発推進研究事業「蛋白質セラピー法と中性子捕捉療法による難治性がん治療法開発」	伊達 熱	脳神経外科	2,000	厚生労働科学研究 費補助金

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

(7 / 25)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
医療技術実用化総合研究事業「生活習慣病増悪フェーズの鍵分子「HMGB1」に対する分子標的抗体薬の臨床応用研究」	伊達 勲	脳神経外科	千円 500	補厚生労働科学研究費補助金委
難治性疾患克服研究事業「特発性正常圧水頭症の病因・病態と診断・治療に関する研究」	伊達 勲	脳神経外科	800	補厚生労働科学研究費補助金委
腫瘍微小環境をターゲットとした分子標的薬と新規腫瘍溶解ウイルス(OV)との併用による治療効果についての検討	黒住 和彦	脳神経外科	1,000	補かなえ医薬振興財團委
脳血管障害研究の新展開【脳血管障害とCCNファミリー分子CYR61】	黒住 和彦	脳神経外科	500	補日本脳神経財団委
脳梗塞における脱分極領域拡大のメカニズム解明と治療	森田 潔	麻酔科蘇生科	900	補文部科学省科学研究費補助金委
肺移植後早期グラフト機能不全の発症における炎症性メディエーターの変動と診断的価値	五藤 恵次	麻酔科蘇生科	500	補文部科学省科学研究費補助金委
脳由来神経成長因子をターゲットにした癌性疼痛の遺伝子治療	溝渕 知司	麻酔科蘇生科	800	補文部科学省科学研究費補助金委
脳虚血中のケタミンとミダゾラムの併用が神経障害に与える影響の定量的評価	谷西 秀紀	麻酔科蘇生科	1,100	補文部科学省科学研究費補助金委
ステロイドに著効を呈す急性呼吸窮迫症候群を推定可能にするバイオマーカーの探索	西江 宏行	麻酔科蘇生科	600	補文部科学省科学研究費補助金委
病態解析を通じたH5N1高病原性鳥インフルエンザ治療法の確立	森島 恒雄	小児科	1,600	補文部科学省科学研究費補助金委
B型肝炎の母子感染および水平感染の把握とワクチン戦略の再構築に関する研究	森島 恒雄	小児科	20,097	補厚生労働科学研究費補助金委
インフルエンザ脳症など重症インフルエンザの発症機序の解明とそれに基づく治療法・予防法の確立に関する研究	森島 恒雄	小児科	44,545	補厚生労働科学研究費補助金委
小児期のウイルス性肝炎に対する治療法の標準化に関する研究	森島 恒雄	小児科	2,000	補厚生労働科学研究費補助金委
急性呼吸器感染症の感染メカニズムと疫学、感染予防・制御に関する研究	森島 恒雄	小児科	600	補厚生労働科学研究費補助金委
早産低出生体重児の生体環境偏移に長期評価とその対策—「成人病胎児期発症説」の検証	塚原 宏一	小児科	900	補文部科学省科学研究費補助金委
小児ウイルス関連脳症におけるチオレドキシン(レドックス制御)の役割	山下 信子	小児科	1,000	補文部科学省科学研究費補助金委
シトリン欠損症の実態調査と診断方法および治療法の開発	塚原 宏一	小児科	600	補厚生労働科学研究費補助金委
遺伝性ネフローゼ症候群原因分子と相互作用する蛋白群の固定と発症機序の解析	綾 邦彦	小児科	900	補文部科学省科学研究費補助金委

小計 18件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

(8/25)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
骨形成不全症の診断、重症度判別における尿中骨代謝マーカーの有効性の確立	長谷川 高誠	小児科	千円 1,200	文部科学省科学研 究費補助金 委
非致死性骨形成不全症の診断及び治療方法に更なる推進	長谷川 高誠	小児科	750	文部科学省科学研 究費補助金 委
医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業「小児等の特殊患者に対する医薬品の製剤改良その他有効性及び安全性の確保のあり方に関する研究」	大塚 頌子	小児神経科	255	厚生労働科学研究 補助金 委
「プリオント病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究班」	大塚 頌子	小児神経科	300	厚生労働科学研究 補助金 委
障害者対策総合研究事業「てんかんの有病率等に関する疫学研究及び診療実態の分析と治療体制の整備に関する研究」	大塚 頌子	小児神経科	500	厚生労働科学研究 補助金 委
難治性疾患克服事業「乳幼児破局てんかんの実態と診療指針に関する研究」	小林 勝弘	小児神経科	500	厚生労働科学研究 補助金 委
「脳形成異常を主とする発達期脳障害の病因・病態と治療に関する研究」	小林 勝弘	小児神経科	1,500	精神・神経疾患研 究委託費 委
産婦人科疾患とインスリン抵抗性に関する研究	平松 祐司	産科婦人科	6,500	文部科学省科学研 究費補助金 委
核内受容体PXRを標的とした卵巣癌抗癌剤耐性克服への分子内分泌学的治療戦略	増山 寿	産科婦人科	1,690	文部科学省科学研 究費補助金 委
高磁場MRI内での磁性ナノ粒子を用いた腫瘍治療の基礎的検討	郷原 英夫	放射線科	780	文部科学省科学研 究費補助金 委
肺アスペルギローマに対するラジオ波治療	平木 隆夫	放射線科	520	文部科学省科学研 究費補助金 委
経皮的治療IVRに関する研究	金澤 右	放射線科	1,000	独立行政法人国立 がん研究センター がん研究開発費 委
経皮的局所治療の評価に関する研究	金澤 右	放射線科	35,000	厚生労働科学研究 費補助金 委
ペースメーカー・チャンネルの遺伝子多型を用いた神経因性疼痛の遺伝子治療	賀来 隆治	集中治療部	1,000	文部科学省科学研 究費補助金 委
集中治療患者における血糖の変動に関する検討	江木 盛時	集中治療部	2,100	文部科学省科学研 究費補助金 委
小児心臓術後の腎不全。早期発見法の確立	戸田 雄一郎	循環器疾患集中治療 部	700	文部科学省科学研 究費補助金 委
人工筋肉を用いた麻痺手を動かすシステムの実用化に関する研究	千田 益生	総合リハビリテーション部	1,100	文部科学省科学研 究費補助金 委

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

(9 / 25)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
運動器疾患の評価と要介護予防のための指標	千田 益生	総合リハビリテーション部	千円 1,500	補 厚生労働科学研究委員会
オンデマンド・バーチャルアティ鏡治療の難治性疼痛治療への応用	佐藤 健治	周術期管理センター	3,900	補 文部科学省科学研究費補助金
生体肝移植における移植肝機能不良、肝再生不良機序の解析	榎田 祐三	臓器移植医療センター	1,430	補 文部科学省科学研究費補助金
難治性固形がん(悪性胸膜中皮腫、前立腺がん)に対する次世代自己がんワクチン化学療法としてのREIC/Dkk-3遺伝子治療臨床研究	那須 保友	新医療研究開発センター	30,000	補 厚生労働科学研究費補助金委員会
表在性難治性膀胱癌に対する癌選択性膀胱注入治療薬の開発	渡部 昌実	新医療研究開発センター	1,000	補 文部科学省科学研究費補助金委員会
緑色蛍光タンパク質発現ウイルス製剤による膀胱癌に対する新たな診断法の開発研究	賀来 春紀	新医療研究開発センター	1,100	補 文部科学省科学研究費補助金委員会
マイクロRNA遺伝子制御ネットワークによるオートファジー細胞死誘導機構の解明	田澤 大	新医療研究開発センター	600	補 文部科学省科学研究費補助金委員会
消化管間質腫瘍における血中浮遊腫瘍細胞検出とその有用性検討の試み	宇野 太	新医療研究開発センター	2,080	補 文部科学省科学研究費補助金委員会
小児心不全に対する細胞治療と単心室症由来人工多能性幹(iPS)細胞の樹立による次世代心筋再生医療の開発	王 英正	新医療研究開発センター	28,800	補 厚生労働省成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業委員会
異種間ヘテロカリオン細胞の包括的遺伝子解析によるヒト心筋細胞初期変換因子群の確立	王 英正	新医療研究開発センター	1,300	補 文部科学省科学研究費補助金委員会
分子レベル解析技術を応用した接着機能性モノマーの網羅的解析と最適組成の検討	鳥井 康弘	総合歯科	1,500	補 文部科学省科学研究費補助金委員会
暫間インプラント／生体組織間の電子顕微鏡下での界面観察	白井 肇	総合歯科	1,000	補 文部科学省科学研究費補助金委員会
接着技法を応用した破折歯の治療術式の検討	吉山 昌宏	むし歯科	2,200	補 日本歯科医学会プロジェクト研究費委員会
口腔内感染度からみたビスマスフォネート系製剤関連顆骨壊死の予防システムの構築	畠中 加珠	歯周科	1,400	補 文部科学省科学研究費補助金委員会
歯周組織の細胞周期アトラスの作製	山本 直史	歯周科	800	補 文部科学省科学研究費補助金委員会
唾液腺幹細胞とiPS細胞を用いた唾液分泌障害に関する病因因子の解明	峯柴 淳二	歯周科	1,200	補 文部科学省科学研究費補助金委員会
歯肉上皮細胞における増殖因子による細胞接着因子制御のメカニズムの分子生物学的解明	山城 圭介	歯周科	1,090	補 文部科学省科学研究費補助金委員会

小計 17件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

(10 / 25)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
Smad2の歯肉上皮ダウングロース抑制による歯周組織再生療法の改善に関する研究	富川 和哉	歯周科	千円 1,300	(補) 文部科学省科学研 究費補助金 委
ニューロモジュレーターであるセロトニン動態から見た睡眠時ブラキシズム発生機序解明	水口 一	クラウンブリッジ補綴科	4,300	(補) 文部科学省科学研 究費補助金 委
発生メカニズムに立脚した生物学的歯根再生技術の開発	窪木 拓男	クラウンブリッジ補綴科	6,200	(補) 文部科学省科学研 究費補助金 委
三叉神経ニューロンの過敏化に対する新規治療法の開発	松香 芳三	クラウンブリッジ補綴科	2,800	(補) 文部科学省科学研 究費補助金 委
部位特異的な組織再生誘導を実現する多機能性インプラント	前川 賢治	クラウンブリッジ補綴科	4,000	(補) 文部科学省科学研 究費補助金 委
組織幹細胞を用いた歯関連組織の分化メカニズムの解明とその応用	園山 直	クラウンブリッジ補綴科	4,400	(補) 文部科学省科学研 究費補助金 委
咬合感覚異常症診断に向けての歯根膜感覚閾値検査の確立	皆木 省吾	咬合・義歯補綴科	1,690	(補) 文部科学省科学研 究費補助金 委
咀嚼の回復による認知症の発症予防-海馬の記憶関連遺伝子に関する分子生物学的解析-	原 哲也	咬合・義歯補綴科	1,040	(補) 文部科学省科学研 究費補助金 委
発汗波のパターン分析による顎顔面補綴患者の精神的ストレス評価	西川 悟郎	咬合・義歯補綴科	2,600	(補) 文部科学省科学研 究費補助金 委
レーザーアシストエッチングがセラミックスの表面構造特性と接着性に与える影響	丸尾 幸憲	咬合・義歯補綴科	2,340	(補) 文部科学省科学研 究費補助金 委
咬合感覚閾値の経時的变化が心理的ストレスにより可塑性変調する可能性に関する研究	沖 和広	咬合・義歯補綴科	4,160	(補) 文部科学省科学研 究費補助金 委
咀嚼時の唾液分泌機序に着目した口腔乾燥症に対する新たな治療法の確立	兒玉 直紀	咬合・義歯補綴科	2,730	(補) 文部科学省科学研 究費補助金 委
臼歯抜歯後の咬合支持の回復と慢性ストレスが高次脳機能に与える影響	黒住 明正	咬合・義歯補綴科	1,820	(補) 文部科学省科学研 究費補助金 委
骨組織におけるEphA4の機能解明とその骨組織再生医療への応用	黒田 知沙	咬合・義歯補綴科	2,470	(補) 文部科学省科学研 究費補助金 委
Angiogeninを標的とした新規癌治療薬neamineの口腔癌治療への応用	岸本 晃治	口腔外科(病態系)	1,950	(補) 文部科学省科学研 究費補助金 委
Angiogeninのアポトーシス抑制作用が血管の恒常性維持に果たす役割	伊原木 聰一郎	口腔外科(病態系)	1,690	(補) 文部科学省科学研 究費補助金 委
顎変形症治療による情動コミュニケーション障害の改善に関する研究	西山 明慶	口腔外科(病態系)	650	(補) 文部科学省科学研 究費補助金 委
口腔癌の骨浸潤・骨破壊に対するAngiogeninを標的とした治療法の基礎的検討	吉岡 徳枝	口腔外科(病態系)	2,210	(補) 文部科学省科学研 究費補助金 委

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

(11 / 25)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
がん・精巢抗原を基盤とした、日本人に適用性の高い血清診断法の開発	銅前 昇平	口腔外科(病態系)	千円 1,820	(補) 文部科学省科学研究費補助金委
FAKシグナルを標的とした癌誘発骨破壊病変に対する新たな治療戦略の開発	志茂 剛	口腔外科(病態系)	7,800	(補) 文部科学省科学研究費補助金委
癌の骨破壊病変に対する新規angiogenin阻害剤による分子標的治療の開発	佐々木 朗	口腔外科(病態系)	6,500	(補) 文部科学省科学研究費補助金委
改良リポソーム製剤による「苦味薬物」効果的経口投与法の開発	友安 弓子	歯科麻酔科	1,430	(補) 文部科学省科学研究費補助金委
障害者歯科におけるEBM確率を目的としたクリニカルパス開発および利用に関する研究	宮脇 卓也	歯科麻酔科	2,144	(補) 厚生労働科学研究費補助金委
口腔内炎症モデルでの視床下部-下垂体-副腎皮質系と脳内サイトカインの反応について	前田 茂	歯科麻酔科	1,000	(補) 文部科学省科学研究費補助金委
脳内酸化ストレスに対する麻醉薬の抗酸化機序について	新井 由起子	歯科麻酔科	900	(補) 文部科学省科学研究費補助金委
オートファジーが口蓋と顎・顔面・頭蓋の形成に果たす役割を考える	山城 隆	矯正歯科	5,200	(補) 文部科学省科学研究費補助金委
代謝性骨疾患においてオートファジーが果たす役割	山城 隆	矯正歯科	2,080	(補) 文部科学省科学研究費補助金委
上皮特異的Runx欠損マウスを用いたエナメル質形成の分子機構の解明	本城 正	矯正歯科	6,630	(補) 文部科学省科学研究費補助金委
生体ライブイメージングを用いた骨組織への刺激に対する細胞間伝達機構の解明	石原 嘉人	矯正歯科	1,560	(補) 文部科学省科学研究費補助金委
人為制御された骨細胞ネットワークの機械的刺激応答能について	上岡 寛	矯正歯科	1,560	(補) 文部科学省科学研究費補助金委
根尖性歯周炎等の口腔内感染巣が易感染性患者の好中球減少性発熱に及ぼす影響	曾我 賢彦	医療支援歯科治療部	1,950	(補) 文部科学省科学研究費補助金委

小計 13件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

合計 186件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(12 / 25)

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Inflamm Bowel Dis. 2011 Sep;17(9):1955–1965.	DNA methylation of colon mucosa in ulcerative colitis patients: correlation with inflammatory status.	平岡 佐規子	消化器内科
J Gastroenterol Hepatol. 2011 Nov;26(11):1604–1611.	Predicting the treatment effect of sorafenib using serum angiogenesis markers in patients with hepatocellular carcinoma.	能祖 一裕	消化器内科
Hepatogastroenterology. 2012 Mar–Apr;59(114):589–591.	Pancreatic involvement in 11 cases of von hippel-lindau disease.	山本 和秀	消化器内科
Cell Medicine, Part B of Cell Transplantation, 2011;2:1–8.	Prospects for Induced Pluripotent Stem Cell-Derived Hepatocytes in Cell Therapy	山本 和秀	消化器内科
J Cell Biochem. 2011 Mar;112(3):745–749.	Loss of Runt-Related Transcription Factor 3 Causes Development and Progression of Hepatocellular Carcinoma	白羽 英則	消化器内科
J Gastroenterol Hepatol. 2012 Apr;27(4):797–804.	Genetic risk of hepatocellular carcinoma in patients with hepatitis C virus: A case control study.	能祖 一裕	消化器内科
J Gastroenterol. 2012 Feb;47(2):127–135.	Detectability of colorectal neoplasia with fluorine-18-2-fluoro-2-deoxy-D-glucose positron emission tomography and computed tomography (FDG-PET/CT)	平岡 佐規子	消化器内科
Intern Med. 2011;50(22):2731–6	Partial splenic embolization facilitates the adherence to peginterferon in chronic hepatitis C with thrombocytopenia.	三宅 康広	消化器内科
Jpn J Clin Oncol. 2012 May;42(5):451–454.	Development of invasive colon cancer with microsatellite instability in a patient with hyperplastic polyposis syndrome.	平岡 佐規子	消化器内科
J Gastroenterol. 2012 Apr;47(4):421–426.	Risk factors for recurrence after transarterial chemoembolization for early-stage hepatocellular carcinoma.	能祖 一裕	消化器内科
Hepatol Res. 2012 Jan;42(1):60–67.	Fulminant hepatitis: Who survives without liver transplantation?	三宅 康広	消化器内科
Dig Endosc. 2012 Sep;24(5):370–3.	Diagnostic usefulness of precise examinations with intraductal ultrasonography, peroral cholangioscopy and laparoscopy of immunoglobulin G4-related sclerosing cholangitis.	池田 房雄	消化器内科
Diabetes. 60(1):189–199,2011	P-selectin glycoprotein ligand-1 deficiency is protective against obesity-related insulin resistance.	Makino H	腎臓・糖尿病・内分泌内科
Molecular and Cellular Endocrinology. 332:163–169. 2011	Activities of bone morphogenetic proteins in prolactin regulation by somatostatin analogs in rat pituitary GH3 cells.	Makino H	腎臓・糖尿病・内分泌内科
Diabetes. 60(3):960–968,2011	Activation of peroxisome proliferator-activated receptor σ inhibits streptozotocin-induced diabetic nephropathy through anti-inflammatory mechanisms in mice.	Makino H	腎臓・糖尿病・内分泌内科
Diabetologia, 54:965–978,2011	Glucagon-like peptide-1 receptor agonist ameliorates renal injury through its anti-inflammatory action without lowering blood glucose level in a rat model of type 1 diabetes.	Makino H	腎臓・糖尿病・内分泌内科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(13 / 25)

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
ActaMed.Okayama. 65(2):81-89. 2011	The macrophage is a key factor in renal injuries caused by glomerular hyperfiltration.	Makino H	腎臓・糖尿病・内分泌内科
Acta Med.Okayama. 65(4):247-257,2011	Involvement of MAPKs in ICAM-1 expression in glomerular endothelial cells in diabetic nephropathy.	Makino H	腎臓・糖尿病・内分泌内科
Molecular and Cellular Endocrinology. 344(1-2):41-50. 2011	Functional interaction of bone morphogenetic protein and growth hormone releasing peptide in adrenocorticotropin regulation by corticotrope cells.	Makino H	腎臓・糖尿病・内分泌内科
Clin Exp Nephrol. 15(5):615-626,2011	Proposal for diagnostic criteria for IgG4-related kidney disease.	Makino H	腎臓・糖尿病・内分泌内科
Prostag Leukot Ess. 84(3-4):99-107,2011	Intermittent administration of a sustained-release prostacyclin analog ONO-1301 ameliorates renal alterations in a rat type 1 diabetes model.	Makino H	腎臓・糖尿病・内分泌内科
Am J Physiol-Renal Physiol. 300(4):F873-F886,2011	Amelioration of renal alterations in obese type 2 diabetic mice by Vasohibin-1, a negative feedback regulator of angiogenesis.	Makino H	腎臓・糖尿病・内分泌内科
Physiol Genomics. 43(14):884-894,2011	Involvement of Runx3 in the basal transcriptional activation of the mouse angiotensin II type 1 receptor-associated protein gene.	Makino H	腎臓・糖尿病・内分泌内科
Adv Otorhinolaryngol. 72:71-74. 2011	Abnormalities of glycogens in tonsillar lymphocytes in IgA nephropathy.	Makino H	腎臓・糖尿病・内分泌内科
Exp Diabetes Res. 534872,2011	High glucose increases metallothioneine expression in renal proximal tubular epithelial cells.	Makino H	腎臓・糖尿病・内分泌内科
Clin J Am Soc Nephrol. 6(6):1337-1344,2011	Icodextrin increases technique survival rate in peritoneal dialysis patients with diabetic nephropathy by improving body fluid management: a randomized controlled trial.	Makino H	腎臓・糖尿病・内分泌内科
Journal of Cardiovascular Pharmacology. Dec;58(6):633-638,2011	Development of angiotensin II-induced abdominal aortic aneurysms is independent of catalase in mice.	Makino H	腎臓・糖尿病・内分泌内科
Clin Exp Nephrol 15(2):212-219,2011	Intercellular adhesion molecule-1 plays a critical role in glomerulosclerosis after subtotal nephrectomy.	Makino H	腎臓・糖尿病・内分泌内科
Heart Rhythm. 2011 Jul;8(7):1014-21.	Spontaneous electrocardiogram alterations predict ventricular fibrillation in Brugada syndrome.	草野 研吾	循環器内科
PLoS One. 2011;6(5):e19897.	Circulating KCNH2 Current-Activating Factor in Patients with Heart Failure and Ventricular Tachyarrhythmia.	中村 一文	循環器内科
Atherosclerosis. 2011 Aug;217(2):486-91.	Ezetimibe improves postprandial hyperlipidemia and its induced endothelial dysfunction.	中村 一文	循環器内科
Am J Cardiol. 2011 Aug 1;108(3):333-9.	Impact of hypertriglyceridemia on endothelial dysfunction during statin ± ezetimibe therapy in patients with coronary heart disease.	中村 一文	循環器内科

小計 16件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(14 / 25)

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Am J Respir Crit Care Med. 2011 Jan 1;183(1):139–40.	Prednisolone ameliorates idiopathic pulmonary arterial hypertension.	草野 研吾	循環器内科
Brain Res. 1382: 308–314, 2011	Protection against ischemic stroke damage by synergistic treatment with amlodipine plus atorvastatin in Zucker metabolic rat.	Abe K	神経内科
Neurol Res 33: 427–432, 2011	Comparisons of acoustic function in SCA31 and other forms of ataxias.	Ikeda Y	神経内科
Brain Res. 1368: 317–323, 2011	Synergistic benefit of combined amlodipine plus atorvastatin on neuronal damage after stroke in Zucker metabolic rat.	Abe K	神経内科
Am J Hum Genet. 89: 121–130, 2011	Expansion of intronic GGCCTG hexanucleotide repeat in NOP56 causes a type of spinocerebellar ataxia (SCA36) accompanied by motor neuron involvement.	Abe K	神経内科
J Neurol Sci. 301: 100–103, 2011	Serial diffusion-weighted MRI and SPECT findings in a Creutzfeldt-Jakob disease patient with V180I mutation.	Abe K	神経内科
Brain Res. 1388: 32–38, 2011	Atorvastatin and pitavastatin protect cerebellar Purkinje cells in AD model mice and preserve the cytokines MCP-1 and TNF- α .	Abe K	神経内科
Neuroscience 197: 358–368, 2011	Progressive neurovascular disturbances in the cerebral cortex of Alzheimer's disease-model mice: protection by atorvastatin and pitavastatin.	Abe K	神経内科
Int. Medicine 50: 2775–2781, 2011	PSP as distinguished from CBD, MSA-P and PD by clinical and imaging differences at an early stage.	Abe K	神経内科
Brain Res. 1371: 161–170, 2011	Atorvastatin and pitavastatin improve cognitive function and reduce senile plaque and phosphorylated tau in aged APP mice.	Abe K	神経内科
Brain Res. 1397: 66–75, 2011	In Vivo Optical Imaging for Evaluating the Efficacy of Edaravone after Transient Cerebral Ischemia in Mice.	Abe K	神経内科
J Neurosci Res. 89: 718–728, 2011	Disruption of neurovascular unit prior to motor neuron degeneration in amyotrophic lateral sclerosis.	Abe K	神経内科
J Neurol Sci. 37: 74–78, 2011	Correlation of cerebral spinal fluid pH and HCO3 ⁻ with disease progression in ALS.	Abe K	神経内科
Eur J Neurol. 18: e100–101, 2011	Differential clinical features in a pair of monozygotic twins with dentatorubropallidoluysian atrophy.	Abe K	神経内科
J Neurosci Res. 89: 86–95, 2011	Strong neurogenesis, angiogenesis, synaptogenesis, and antifibrosis of hepatocyte growth factor in rats brain after transient middle cerebral artery occlusion.	Abe K	神経内科
J Neurosci Res. 89: 1125–1133, 2011	Neurological and pathological improvements of cerebral infarction in mice with platinum nanoparticles.	Abe K	神経内科

小計 16件

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(15 / 25)

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Brain Res. 1370: 246–253, 2011	Expression of Keap1-Nrf2 system and antioxidative proteins in mouse brain after transient middle cerebral artery occlusion.	Abe K	神経内科
J Neurosci Res. 89: 1228–1234, 2011	Amlodipine and atorvastatin exert protective and additive effects via antiapoptotic and antiautophagic mechanisms after transient middle cerebral artery occlusion in Zucker metabolic syndrome rats.	Abe K	神経内科
臨床神経学 51: 471–477, 2011	岡山大学神経内科における遺伝子検査1,000件の臨床疫学的解析。	阿部 康二	神経内科
Cell Cycle 10:2737–2741, 2011	Tumor-selective adenoviral-mediated GFP genetic labeling of human cancer in the live mouse reports future recurrence after resection.	Kishimoto H	消化管外科
日本臨床外科学会雑誌 72(11):2767–2775, 2011	肝細胞癌に対する肝切除359例における胆汁漏危険因子の解析	貞森 裕	消化管外科
Nihon Rinsho. Japanese 69 Suppl 6:322–328, 2011	Surgery for cancers at the esophagogastric junction and Barrett's esophageal cancers	Shirakawa Y	消化管外科
Acta Med Okayama. 65(3):169–177, 2011	Expansion of CpG methylation in the SFRP2 promoter region during colorectal tumorigenesis.	Nagasaki T	消化管外科
Clin Cancer Res. 17(7):1828–1838, 2011	Preclinical evaluation of telomerase-specific oncolytic virotherapy for human bone and soft tissue sarcomas.	Fujiwara T	消化管外科
Expert Rev Anticancer Ther 11(4):525–532, 2011	Telomerase-specific oncolytic virotherapy for human gastrointestinal cancer.	Fujiwara T	消化管外科
World J Gastroenterol. 17(6):717–726, 2011	Glutamine depletion induces murine neonatal melena with increased apoptosis of the intestinal epithelium.	Motoki T	消化管外科
Clin Nucl Med. 36(10):854–859, 2011	F-18 FDG PET/CT contributes to more accurate detection of lymph nodal metastasis from actively proliferating esophageal squamous cell carcinoma.	Shirakawa Y	消化管外科
Cancer Sci 102(7):1344–1349, 2011	Inhibition of mTOR by temsirolimus contributes to prolonged survival of mice with pleural dissemination of non-small-cell lung cancer cells.	Ohara T	消化管外科
Acta Med Okayama 65(6):395–402, 2011	The usefulness of pre-radiofrequency ablation SUV(max) in 18F-FDG PET/CT to predict the risk of a local recurrence of malignant lung tumors after lung radiofrequency ablation.	Fujiwara T	消化管外科
Gan To Kagaku Ryoho. Japanese. 38(12):2100–2102, 2011	Prolonged complete response obtained by radiation and chemotherapy with paclitaxel in a case of recurrent gastric cancer in the rectovesical pouch	Fujiwara T	消化管外科

小計 14件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(16 / 25)

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Eur J Cardiothorac Surg 2011;40:956-61	Early effects of the ex vivo evaluation system on graft function after swine lung transplantation.	Oto T	呼吸器外科
Transpl Immunol 2012 ;26:133-9	Peculiar mechanisms of graft recovery through anti-inflammatory responses after rat lung transplantation from donation after cardiac death.	Yamamoto S	呼吸器外科
Clin Cancer Res 2011;17:4965-74	Epigenetic silencing of microRNA-34b/c plays an important role in the pathogenesis of malignant pleural mesothelioma.	Toyooka S	呼吸器外科
臨床外科 67巻1号 Page12-16	【「切除困難例」への化学療法後の手術-根治切除はどこまで可能か】非小細胞肺癌に対する根治的放射線化学療法後の手術	豊岡 伸一	呼吸器外科
日本循環器学会専門医誌 19 (2):291-295, 2011	先天性心疾患患者における導管による右室流出路再建術の検討。	笠原 真悟	心臓血管外科
日本小児循環器学会雑誌 27(1) :23-30, 2011	成人期心房中隔欠損に対するカテーテル閉鎖術と外科的閉鎖術の臨床成績比較:単一施設における後方視的非ランダマイズ化検討.	藤井 泰宏	心臓血管外科
Journal of Thoracic and Cardiovascular Surgery 142(6):1582-1584, 2011	Right ventricular exclusion for a neonatal patient with Ebstein anomaly: A free wall resection of the right ventricle.	Kawabata T	心臓血管外科
MedicalScience Digest 37(11):439-442, 2011	小児心不全に対する心筋再生療法.	樽井 俊	心臓血管外科
関節外科 第30巻(4) 089-0100	骨粗鬆症性椎体骨折後変形の矯正	田中 雅人	整形外科
MB Orthop. 第24巻(5)増刊043-050	脊柱の変形に伴う痛み(変性側弯症、強直性脊椎炎など)	田中 雅人	整形外科
OS Now Instruction 109-115	腰椎前方固定術:いわゆる miniALIF	田中 雅人	整形外科
関節外科 第30巻(5) 094-101	手術療法 関節リウマチの上肢機能障害に対する人工関節全置換術 -肩・肘-	西田 圭一郎	整形外科
分子リウマチ治療 第4巻(3)147-151	ACR / EULAR 2010 分類基準における画像診断の位置づけ	西田 圭一郎	整形外科
整形外科看護 春季増刊254-263	関節リウマチ	西田 圭一郎	整形外科
岡山医誌 第123巻053-055	膝前十字靱帯損傷	阿部 信寛	整形外科
Connect Tissue Res Vol.52(6)459-465	Inner meniscus cells maintain higher chondrogenic phenotype compared with outer meniscus cells.	古松 耕之	整形外科
J Neurotrauma Vol.27(4)739-751	Separation of the perivascular basement membrane provides a conduit for inflammatory cells in a mouse spinal cord injury model	瀧川 朋亨	整形外科
Spine Vol.35(22)1160-1166	Spinal Kinematics and facet load transmission after total disc replacement	瀧川 朋亨	整形外科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(17 / 25)

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Spine Vol.2(6)1110-1116	Efficacy of A New Evaluation Form for Lumbar Spinal Stenosis : The More Suitable Objective Score than The JOA Score	田中 雅人	整形外科
Clinical cancer research 2011 Apr 1;17(7):1828-38.	Preclinical evaluation of telomerase-specific oncolytic virotherapy for human bone and soft tissue sarcomas	尾崎 敏文	整形外科
Acta medica Okayama 2011 Jun;65(3):211-4	A case of surgery for kyphosis of the thoracolumbar spine in an elderly patient with dysphagia.	尾崎 敏文	整形外科
Journal of orthopaedic science 2011 Sep;16(5):589-97.	Comparison between loose fragment chondrocytes and condyle fibrochondrocytes in cellular proliferation and redifferentiation.	尾崎 敏文	整形外科
Acta Med.Okayama 65(3):215-218	Churg-Strauss syndrome with necrosis of the tips.	木股 敬裕	形成外科
Head and Neck 33(3):383-388	Morphologic study of mandibles in Japanese patients for mandibular reconstruction with fibula free flaps.	木股 敬裕	形成外科
Int J Colorectal Dis 26:653-659	New application of the gluteal-fold flap for the treatment of anorectal stricture.	木股 敬裕	形成外科
Plastic and Reconstructive Surgery 127(3):74-76	Use of indocyanine green fluorescent lymphography for evaluating dynamic lymphatic status.	木股 敬裕	形成外科
JOHNS 27(4):559-564	頭頸部癌手術における他科の役割	木股 敬裕	形成外科
PEPARS 53:10-16	硬組織に人工材料を用いた胸壁全層欠損の再建	長谷川 健二郎	形成外科
PEPARS 57:83-89	下肢のリンパ浮腫に対するUntied Stay Suture法によるリンパ管静脈吻合術	長谷川 健二郎	形成外科
PEPARS 59:77-84	会陰部周囲の形成外科 性同一性障害	難波 祐三郎	形成外科
PEPARS 59:93-97	実験的精巣移植	難波 祐三郎	形成外科
Pharma Medica 29(7):23-27	頭頸部癌の外科治療 再建手術の進歩	木股 敬裕	形成外科
形成外科 54(8):843-848	下咽頭頸部食道再建に関する多施設共同研究と展望	木股 敬裕	形成外科
産婦人科手術 22:115-122	性同一性障害(GID)に対する性別適合手術と半陰陽への応用	難波 祐三郎	形成外科
精神医学 53(9):789-794	総合病院におけるGID医療センター化の取り組み	難波 祐三郎	形成外科

小計 17件

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(18 / 25)

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Dermatological Science 63: 173-183, 2011	Dendritic cell subsets and immunological milieu in inflammatory human papilloma virus-related skin lesions.	Iwatsuki K	皮膚科
Journal of American Academy of Dermatology 64: 879-887, 2011	Markedly elevated serum levels of calcium-binding S100A8/A9 proteins in psoriatic arthritis are due to activated monocytes/macrophages.	Iwatsuki K	皮膚科
Journal of Dermatology 38: 711-716, 2011	Human leukocyte antigen genotypes and antibody profiles associated with familial pemphigus in Japanese.	Iwatsuki K	皮膚科
Clinical and Experimental Dermatology 36: 1-5, 2011	Granulysin-producing cytotoxic T cells in the mucocutaneous lesions of Behcet disease:a distinct inflammatory response from erythema nodosum.	Yamasaki O	皮膚科
European Journal of Dermatology 21: 271-272, 2011	Pustular erythema toxicum neonatorum in two siblings born to a mother with group B streptococcus colonization.	Yamasaki O	皮膚科
Journal of Dermatology 38: 524-530, 2011	A retrospective analysis of 133 patients with cutaneous lymphomas from a single Japanese medical center between 1995 and 2008.	Hamada T	皮膚科
European Journal of Dermatology 21: 804-805, 2011	Beneficial effects of neutrophil-targeted therapy for pyoderma gangrenosum associated with ulcerative colitis.	Hamada T	皮膚科
Skin Cancer-A World-wide Perspective. ed. Dunner R, Pittelkow M, Iwatsuki K, et al. Springer, Heidelberg, pp.355-357, 2011	Histiocytoses.	Iwatsuki K	皮膚科
Asian Skin and Skin Disease edn.Eun HC, Kim SC, Lee WS, Medrang Inc.Seoul, pp.409-414, 2011	Adult T-cell leukemia/lymphoma.	Iwatsuki K	皮膚科
Journal of Artificial Organs 14; 140-150, 2011	Optial coherence tomographic parameters as objective signs for visual aquity in patients with retinitis pigmentosa, future candidates for retinal prostheses.	松尾 俊彦	眼科
World Neurosurgery 76(5):437-445, 2011	Determinants of poor outcome after aneurysmal subarachnoid hemorrhage when both clipping and coiling are available: Prospective registry of subarachnoid aneurysms treatment (PRESAT) in Japan.	Sugiu K	脳神経外科
Brain Research 1368:281-289, 2011	BDNF-secreting capsule exerts neuroprotective effects on epilepsy model of rats.	Agari T	脳神経外科

小計 12件

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(19 / 25)

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Neurosurgery 68(4):1096–1101, 2011	Computational fluid dynamics of carotid arteries after carotid endarterectomy or carotid artery stenting based on postoperative patient-specific computed tomography angiography and ultrasound flow date.	Tokunaga K	脳神経外科
Journal of Cellular Physiology 226(5):1390–1398, 2011	Urinary 8-OHdG elevations in a partial lesion rat model of Parkinson's disease correlate with behavioral symptoms and nigrostriatal dopaminergic depletion.	Agari T	脳神経外科
Current Trends in Neurology 5:13–16, 2011	Mesenchymal stem cell transplantation therapy for Parkinson's disease and cerebral ischemia.	Kameda M	脳神経外科
Neuroscience Research 71:92–98, 2011	GDNF-pretreatment enhances the survival of neural stem cells following transplantation in a rat model of Parkinson's disease.	Kameda M	脳神経外科
Cell Transplantation 20(7):1049–1064, 2011	Striatal stimulation nurtures endogenous neurogenesis and angiogenesis in chronic-phase ischemic stroke rats.	Kameda M	脳神経外科
Journal of Vascular Surgery 53:977–983, 2011	Histologic characterization of mobile and nonmobile carotid plaques detected with ultrasound imaging.	Hishikawa T	脳神経外科
小児の脳神経 36(3):301–303, 2011	胎児水頭症前方視的多施設共同調査中間報告.	伊達 勲	脳神経外科
小児の脳神経 36(3):304–307, 2011	胎児水頭症に対する神経内視鏡の応用と全国前方視的多施設共同調査.	伊達 勲	脳神経外科
脳神経外科速報 21(9):970–981, 2011	Supraclinoid瘤(IC-Achor, IC-PC)のコイル塞栓術.	杉生 憲志	脳神経外科
BRAIN and NERVE 63(2):182–183, 2011	脊髄くも膜下出血後Adamkiewicz動脈に生じた血管攣縮.	三好 康之	脳神経外科
小児の脳神経 36(5):467–472, 2011	小児テント上悪性星細胞腫瘍に対する外科治療を含めた集学的治療の成績.	黒住 和彦	脳神経外科
神経外傷 84(1):84–91, 2011	Growing skull fractureに対する手術法の考察および文献的考察.	亀田 雅博	脳神経外科
Int J Mol Med. 29(2):135–140, 2011	Heme breakdown and ischemia/reperfusion injury in grafted liver transplantation.	Morimatsu H	麻酔科蘇生科
Biochemical and Biophysical Research Communications. 408(1):139–144, 2011	Decoy strategy targeting the brain-derived neurotrophic factor exon I to attenuate tactile allodynia in the neuropathic pain model of rats.	Obata N	麻酔科蘇生科
J Anesth. 25(6):823–830, 2011	Effect of tranexamic acid on blood loss in pediatric cardiac surgery: a randomized trial.	Shimizu K	麻酔科蘇生科
Redox Rep. 2011;16(1):45–6.	Evaluation of oxidative stress status in children with pervasive developmental disorder and attention deficit hyperactivity disorder using urinary-specific biomarkers.	Tsukahara H	小児科

小計 16件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(20 / 25)

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Bone Miner Metab. 2011 Nov;29(6):737-43.	Cross-sectional study of bone metabolism with nutrition in adult classical phenylketonuric patients diagnosed by neonatal screening.	Tsukahara H	小児科
Mol Genet Metab. 2011 Jul;103(3):220-5.	Experimental evidence that phenylalanine is strongly associated to oxidative stress in adolescents and adults with phenylketonuria.	Tsukahara H	小児科
Emerg Infect Dis. 2011 Nov;17(11):1993-2000	Deaths associated with pandemic (H1N1) 2009 among children, Japan, 2009-2010.	Morishima T	小児科
Cytokine. 2011 Nov;56(2):180-7.	Increased levels of cytokines and high-mobility group box 1 are associated with the development of severe pneumonia, but not acute encephalopathy, in 2009 H1N1 influenza-infected children.	Morishima T	小児科
Microbiol Immunol. 2011 Nov;55(11):809-16. doi: 10.1111/j.1348-0421.2011.00380.x.	Tumor necrosis factor- α can induce Langhans-type multinucleated giant cell formation derived from myeloid dendritic cells.	Morishima T	小児科
J Perinatol. 2011 Jun;31(6):440-5.	Transmission of cytomegalovirus via breast milk in extremely premature infants.	Morishima T	小児科
Epilepsy Res 96:89-95, 2011.	An epidemiological study of children with status epilepticus in Okayama, Japan: incidence, etiologies, and outcomes.	Ohtsuka Y	小児神経科
Epilepsy Res 96: 276-282, 2011	Amplitude-integrated EEG colored according to spectral edge frequency.	Kobayashi K	小児神経科
Epilepsia 52: 1812-1819, 2011.	High-frequency oscillations in idiopathic partial epilepsy of childhood	Kobayashi K	小児神経科
Clin Neurophysiol 122: 32-42, 2011.	High frequency changes during interictal spikes detected by time-frequency analysis.	Kobayashi K	小児神経科
Neuropediatrics. 42:51-54, 2011.	Abnormal fast activity before the onset of West syndrome.	Endoh F	小児神経科
日本産科婦人科栄養・代謝研究会誌 17(1):33-34	早産IUGRにおけるEUGR(Extrauterine Growth Restriction)発症の産科的リスク因子についての検討	井上 誠司	産科婦人科
日本産科婦人科栄養・代謝研究会誌 17(1):37-38	妊娠中のアディポサイトカインの動態とインスリン抵抗性への関与	増山 寿	産科婦人科
日本産科婦人科栄養・代謝研究会誌 17(1):75-76	母体尿酸値からみた子宮内胎児発育の検討	増山 寿	産科婦人科
心臓 43(7):1019-1020	婦人科浸潤癌術後のVTE予防における新しい抗凝固薬の可能性	閔 典子	産科婦人科
GYNECOLOGIC ONCOLOGY 122(3):491-494	Factors associated with parametrial involvement in stage IB1 cervical cancer and identification of patients suitable for less radical surgery	Kodama J	産科婦人科

小計 16件

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(21 / 25)

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
糖尿病と妊娠 11(1):85-92	多施設における妊娠糖尿病の新しい診断基準を用いた臨床統計	平松 祐司	産科婦人科
Journal of Molecular Endocrinology 47(2):229-239	Potential role of estradiol and progesterone in insulin resistance through constitutive androstan receptor	Masuyama H	産科婦人科
現代産婦人科 60(1):75-79	腹腔鏡下手術後の仙骨子宫韌帶上に発生した子宮内膜症性囊胞の1例	鎌田 泰彦	産科婦人科
The Journal of Obstetrics and Gynaecology Research 37(5):402-411	Increased arterial stiffness in mildly-hypertensive women with polycystic ovary syndrome	Kamada Y	産科婦人科
日本産科婦人科学会雑誌 63(12):N173-N179	クリニックルディベート 3)生殖②拳児希望漿膜下子宮筋腫の管理4)待機の立場に立って	増山 寿	産科婦人科
International Journal of Cancer 128(11):2613-2624	The role of hepatocyte growth factor activator inhibitor (HAI)-1 and HAI-2 in endometrial cancer	Nakamura K	産科婦人科
Oncology Reports 26(1):65-71	Fat accumulation in adipose tissues as a risk factor for the development of endometrial cancer	Nakamura K	産科婦人科
Gynecologic Oncology 123(1):82-87	The measurement of SUVmax of the primary tumor is predictive of prognosis for patients with endometrial cancer	Nakamura K	産科婦人科
American Journal of Reproductive Immunology 66(2):90-99	A Possible Mechanism of Autoimmune-Mediated infertility in Women with Endometriosis	Nakatsuka M	産科婦人科
The Journal of Obstetrics and Gynaecology Research 37(10):1365-1375	Effects of intermittent high glucose on BeWo choriocarcinoma cells in culture	Masumoto A	産科婦人科
母性衛生 52(1):147-159	「妊婦のDV被害」の実態と産科医療スタッフの意識	中塚 幹也	産科婦人科
日本不妊カウンセリング学会誌 10(1):32-33	妊娠中の不育症女性の不安	中塚 幹也	産科婦人科
日本不妊カウンセリング学会誌 10(1):34-35	グリーフケアを受けた流死産女性への継続ケアとしての退院後面接の試み	中塚 幹也	産科婦人科
日本産婦人科・新生児血液学会誌 21(1):9-13	血栓性素因のある不育症に対するヘパリンカルシウム自己皮下注射の安全性についての検討	中塚 幹也	産科婦人科
日本周産期・新生児医学雑誌 47(4):911-917	妊娠中期胎児スクリーニング時の超音波胎盤計測より、胎児発育不全症例を検出する方法	平松祐司	産科婦人科
GID(性同一性障害)学会雑誌 4(1):67-68	性同一性障害の社会的課題に関する意識調査:保険適用と特例法	中塚 幹也	産科婦人科

小計 16件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(22 / 25)

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
GID(性同一性障害)学会雑誌 4(1):63-65	性別違和感のある子どもに関する文部科学省通知の認知度と学校での対応への意識	岡崎 倫子	産科婦人科
GID(性同一性障害)学会雑誌 4(1):75-76	地方都市におけるセクシュアルマイノリティ当事者グループの設立と運営	中塚 幹也	産科婦人科
GID(性同一性障害)学会雑誌 4(1):140	FTM当事者の初診時に認めた子宮頸部細胞診異常- FTM当事者における子宮頸癌検診と予防ワクチンの考え方-	新井 富士美	産科婦人科
GID(性同一性障害)学会雑誌4(1):6-15,66	性同一性障害当事者の就労の現状と課題	中塚 幹也	産科婦人科
Molecular and Cellular Endocrinology 348(1):120-127	Treatment with a constitutive androstane receptor ligand ameliorates the signs of preeclampsia in high-fat diet-induced obese pregnant mice	Masuyama H	産科婦人科
Endocrine Journal 59(2):145-151	Determination of reference intervals of glycated albumin and hemoglobin A1c in healthy pregnant Japanese women and analysis of their time courses and influencing factors during pregnancy	Hiramatsu Y	産科婦人科
European Journal of Nuclear Medicine and Molecular Imaging 39(2):283-290	Measurement of SUVmax plus ADCmin of the primary tumour is a predictor of prognosis in patients with cervical cancer	Nakamura K	産科婦人科
American Journal of Physiology - Endocrinology and Metabolism 302:687-693	Potential interaction of brain natriuretic peptide with hyperadiponectinemia in preeclampsia	Masuyama H	産科婦人科
Gynecologic and Obstetric Investigation 73(2):162-167	The Correlation of Maternal Uric Acid Concentration with Small-for-Gestational-Age Fetuses in Normotensive Pregnant Women	Masuyama H	産科婦人科
Gynecologic Oncology 124(2):335-339	Measurement of the minimum apparent diffusion coefficient (ADCmin) of the primary tumor and CA125 are predictive of disease recurrence for patients with endometrial cancer	Nakamura K	産科婦人科
J Vasc Interv Radiol 22:741-748,2011	Percutaneous radiofrequency ablation for pulmonary metastases from hepatocellular carcinoma: results of a multicenter study in Japan.	Hiraki T	放射線科
J Vasc Interv Radiol 22:1777-1778,2011	Diaphragmatic hernia after percutaneous radiofrequency ablation of lung tumor.	Hiraki T	放射線科
J Vasc Interv Radiol 22:503-506,2011	Technique for creation of artificial pneumothorax for pain relief during radiofrequency ablation of peripheral lung tumors: a report of seven cases.	Hiraki T	放射線科
J Thorac Cardiovasc Surg 142:24-30,2011	Percutaneous radiofrequency ablation of clinical stage I non-small cell lung cancer.	Hiraki T	放射線科
Acta Med Okayama 65: 287-297,2011	Radiofrequency ablation of lung cancer at Okayama University Hospital: a review of 10 years of experience.	Hiraki T	放射線科

小計 15件

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(23 / 25)

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Anesth. 25(1)108-111,2011	Pituitary apoplexy precipitating diabetes insipidus after living donor liver transplantation.	Matsusaki T	集中治療部
Acta Med Okayama. 65(3)163-168,2011	The excitement of multiple noradrenergic cell groups in the rat brain related to hyperbaric oxygen seizure.	Takeda Y	集中治療部
CHEST. 140(1)212-220,2011	Glycemic Control in the ICU.	Egi M	集中治療部
Journal of cerebral blood flow and metabolism. 31(9)1863-1873,2011	Metabolic and perfusion responses to recurrent peri-infarct depolarization during focal ischemia in the Spontaneously Hypertensive Rat: Dominant contribution of sporadic CBF decrements to infarct expansion.	Takeda Y	集中治療部
J Anesth. 25(4)540-548,2011	Effect of fentanyl on ischemic depolarization and ischemic neuronal damage of hippocampal CA1 in the gerbil.	Takeda Y	集中治療部
Medical Rehabilitation 139:13-17,2011	人工肘関節のリハビリテーション	千田 益生	総合リハビリテーション部
総合リハビリテーション 39(8):759-764, 2011	慢性腰痛に対する運動療法	千田 益生	総合リハビリテーション部
臨床スポーツ医学 28(6): 655-660, 2011	高齢者の変形性膝関節症と運動療法-有効性と限界- 運動療法の有効性と限界 RCTからみた考察	千田 益生	総合リハビリテーション部
理学療法 28(4):614-616, 2011	変性腰部脊柱管狭窄症の女性患者の身体的特徴	千田 益生	総合リハビリテーション部
Exp Clin Transplant 9(2):139-144, 2011	Leukoencephalopathy syndrome after living-donor liver transplantation.	Umeda Y	臓器移植医療センター
World J Surg. 35(1):170-177, 2011	A Prognostic Model and Treatment Strategy for Intrahepatic Recurrence of Hepatocellular Carcinoma after Curative Resection	Umeda Y	臓器移植医療センター
Oncol Rep 26(4):769-75,2011	Tumor suppressor REIC/Dkk-3 interacts with the dynein light chain, Tctex-1.	Watanabe M	新医療研究開発センター
Acta Med Okayama 65(5):315-23,2011	Advanced two-step transcriptional amplification as a novel method for cancer-specific gene expression and imaging.	Watanabe M	新医療研究開発センター
Gene Ther 18(10):969-78,2011	Single nucleotide polymorphism WRN Leu1074Phe is associated with prostate cancer susceptibility in Chinese subjects.	Kaku H	新医療研究開発センター
Expert Opin Biol Ther 11(2):145-55,2011	MicroRNAs as potential target gene in cancer gene therapy of gastrointestinal tumors.	Tazawa H	新医療研究開発センター
Journal of International Academy of Periodontology 2011 Jul;13(2):40-7.	Chronic periodontitis with multiple risk factor syndrome: a case report	Yamamoto Tadashi	歯周科

小計 16件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(24 / 25)

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
PLoS One 2011;6(10):e26163	Outer membrane vesicles of <i>Porphyromonas gingivalis</i> elicit a mucosal immune response	Takashiba Shogo	歯周科
Journal of Biological Regulators & Homeostatic Agents 2011 Apr-Jun;25(2):195-202	Immune responses to <i>Porphyromonas gingivalis</i> infection suppress systemic inflammatory response in experimental murine model	Omori Kazuhiro	歯周科
Journal of Oral Rehabilitation 39:63-72,2012	Intradermal injection of botulinum toxin type A alleviates infraorbital nerve constriction-induced thermal hyperalgesia in an operant assay.	Kumada A	クラウンブリッジ補綴科
Clinical Oral Investigations 16:101-108,2012	Test-retest reliability of MRI-based disk position diagnosis of the temporomandibular joint.	Maekawa K	クラウンブリッジ補綴科
Dental Materials Journal 31:86-91, 2012	Influence of resin coating materials on <i>porphyromonas gingivalis</i> attachment.	Kumada A	クラウンブリッジ補綴科
Journal of Oral Rehabilitation 39:44-54,2012	Response shift in oral health-related quality of life measurement in patients with partial edentulism.	Kimura A	クラウンブリッジ補綴科
Journal of Sleep and Breathing in press.	Multiple night date collected using a self-contained EMG detector/analyser system in asymptomatic healthy subjects.	Minakuchi H	クラウンブリッジ補綴科
Acta Biomaterialia 7:3187-3195, 2011	Nanolayering of phosphoric acid ester monomer on enamel and dentin.	Minagi S	咬合・義歯補綴科
Head Neck 33: 620-626, 2011	Salivary stress biomarker levels during speech in patients with maxillectomy defect.	Minagi S	咬合・義歯補綴科
American Journal of Dentistry 24: 310-314, 2011	Effect of spherical silica additions on marginal gaps and compressive strength of experimental glass-ionomer cements.	Nishigawa G	咬合・義歯補綴科
Journal of Laser Micro Nanoengineering 6: 174-179, 2011	Effects of irradiation with a CO ₂ laser on surface structure and bonding of a zirconia ceramic to dental resin cement.	Maruo Y	咬合・義歯補綴科
Journal of Neuroscience Methods 203:157-162, 2012	Mechanomyographic activity in the human lateral pterygoid muscle during mandibular movement.	Minagi S	咬合・義歯補綴科
Journal of Oral Rehabilitation 39: 405-410, 2012	New image analysis of large food particles can discriminate experimentally suppressed mastication.	Minagi S	咬合・義歯補綴科
Anticancer Res 31:1304-1341,2011	Induction of MMP-13 expression in bone-metastasizing cancer cells by type I collagen through integrin $\alpha 1 \beta 1$ and $\alpha 2 \beta 1$ -p38 MAPK signaling	Ibaragi S	口腔外科(病態系)
Anticancer Res 31:1197-1204,2011	Antitumor effect of novel HSP90 inhibitor NVP-AUY922 against oral squamous cell carcinoma	Shimo T	口腔外科(病態系)
Oral Science International 8:44-49,2011	Novel pathogenic role of fibrin as revealed by a case study on ligneous gingivitis.	Shimo T	口腔外科(病態系)
Oncology Letters 2:839-843,2011	Effects of a concurrent chemoradiotherapy with S-1 for locally advanced oral cancer	Sasaki A	口腔外科(病態系)

小計 17件

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(25 / 25)

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Cell Commun Signal 5:291-299,2011	Association of the metastatic phenotype with CCN family members among breast and oral cancer cells	Sasaki A	口腔外科(病態系)
Japanese Dental Science Review 47:13-22,2011	Mechanism of cancer-induced bone destruction: An association of connective tissue growth factor (CTGF/CCN2) in the bone metastasis	Shimo T	口腔外科(病態系)
日本口腔外科学会雑誌 57:542-547,2011	新規がん抗原GKAP1の同定と口腔扁平上皮癌での発現解析	銅前 昇平	口腔外科(病態系)
Journal of Clinical Anesthesia 23: 636-642, 2011	Dental Sedation for Patients with Intellectual Disability: A Prospective Study of Manual Control versus Bispectral Index-Guided Target-Controlled Infusion of Propofol.	Takuya Miyawaki	歯科麻酔科
Open Dent J 5: 146-149, 2011	Allergic reactions to local anesthetics in dental patients: analysis of intracutaneous and challenge tests.	Yumiko Tomoyasu	歯科麻酔科
J Anesth 25: 618-620, 2011	Propofol increases the rate of albumin-unbound free midazolam in serum albumin solution.	Takuya Miyawaki	歯科麻酔科
Redox Rep 16(3): 114-120, 2011	Induction of apoptotic change in the rat hippocampus caused by ferric nitrilotriacetate.	Shigeru Maeda	歯科麻酔科
J Liposome Res 21(2): 166-172,2011	Liposome-encapsulated midazolam for oral administration.	Yumiko Tomoyasu	歯科麻酔科
Am J Orthod Dentofacial Orthop. 139(4 Suppl):S60-8.	Comparison of orthodontic treatment outcomes in adults with skeletal open bite between conventional edgewise treatment and implant-anchored orthodontics.	Yamashiro T	矯正歯科
Stem Cells. 2011 29(11):1792-803.	Core binding factor beta functions in the maintenance of stem cells and orchestrates continuous proliferation and differentiation in mouse incisors.	Hayano S	矯正歯科
Cleft Palate Craniofac J. 2011 Nov 8. [Epub ahead of print]	A case report of multidisciplinary treatment of an adult patient with bilateral cleft lip and palate.	Honjo T	矯正歯科
Exp Cell Res. 2012 318(5):453-63.	Stage-specific embryonic antigen-4 identifies human dental pulp stem cells.	Kawanabe N	矯正歯科
J Biol Chem. 2012 87(15):12217-29.	Roles of heparan sulfate sulfation in dentinogenesis.	Hayano S	矯正歯科
Support Care Cancer 19:995-1000,2011	Bacterial substitution of coagulase-negative staphylococci for streptococci on the oral mucosa after hematopoietic cell transplantation.	Soga Y	医療支援歯科治療部

合計 14件

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 横野 博史		
管理担当者氏名	総務課長 田口 博之, 放射線部長 金澤 右, 薬剤部長 千堂 年昭,	医事課長 白川 博章, 医療情報部長 太田 吉夫, 看護部長 保科 英子,	各診療科長

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録			
病院日誌		総務課	
各科診療日誌、手術記録、看護記録、検査所見記録、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		各診療科 医療情報部 医事課	
処方せん		薬剤部	
エックス線写真		放射線部	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務課	
	高度の医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	総務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部	
第規一則号第一に一掲条げのる十 体制第一の一確項保各の号状況び 第九 条の二十三第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	総務課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理部	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課 医療安全管理部	

病院の管理 及び運営に 関する諸記 録	規則 第一 条 の 十 一 第 一 項 各 号 及 び 第 九 条 の 二 十 三 第 一 項 第 一 号 に 掲 げ る 体 制 の 確 保 の 状 況	院内感染のための指針の 策定状況	保管場所	分類方法
		院内感染対策のための委 員会の開催状況	総務課 医事課	
		従業者に対する院内感染 対策のための研修の実施状 況	感染制御部	
		感染症の発生状況の報告 その他の院内感染対策の推 進を目的とした改善のため の方策の実施状況	感染制御部 医事課 総務課	
		医薬品の使用に係る安全 な管理のための責任者の配 置状況	総務課	
		従業者に対する医薬品の 安全使用のための研修の実 施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のため の業務に関する手順書の作 成及び当該手順書に基づく 業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のため に必要となる情報の収集そ の他の医薬品の安全使用を 目的とした改善のための方 策の実施状況	薬剤部	
		医療機器の安全使用のた めの責任者の配置状況	総務課	
		従業者に対する医療機器の 安全使用のための研修の実 施状況	医療機器安全管理室	
		医療機器の保守点検に関 する計画の策定及び保守点 検の実施状況	医療機器安全管理室	
		医療機器の安全使用のた めに必要となる情報の収集 その他の医療機器の安全使 用を目的とした改善のため の方策の実施状況	医療機器安全管理室 医療安全管理部	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	事務部長 小西 竹生
閲覧担当者氏名	総務課長 田口 博之
閲覧の求めに応じる場所	管理棟研究棟3階小会議室(病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧場所)

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前 年 度 の 総 閲 覧 件 数	延	0 件
閲 覧 者 別	医 師	延 0 件
	歯 科 医 師	延 0 件
	国	延 0 件
	地 方 公 共 団 体	延 0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹 介 率	81.7 %	算 定 期 間	平成23年4月1日～平成24年3月31日
算 A : 紹 介 患 者 の 数			17,604人
出 B : 他の病院又は診療所に紹介した患者の数			22,571人
根 C : 救急用自動車によって搬入された患者の数			1,018人
拠 D : 初 診 の 患 者 の 数			27,866人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第13-2)

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none">・ 指針の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 安全管理に関する基本的な考え方・ 医療事故発生時の対応方法・ 各部門ごとの安全管理マニュアル・ 患者からの相談への対応に関する基本方針他	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年12回
<ul style="list-style-type: none">・ 活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 医療事故の防止及びその対策に関すること・ 医療事故防止マニュアルの作成に関すること・ 医療事故防止の教育・研修に関すること・ その他医療事故の防止に関すること	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年3回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：<ol style="list-style-type: none">1. 「心肺蘇生法」2. 抗がん剤の安全管理について3. 抗菌薬アレルギーへの対応、入院患者の尿路感染と予防策（医療安全・院内感染対策合同）	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 医療機関内における事故報告等の整備（ 有・無 ）・ その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ マニュアルの整備・ インシデントレポートシステム・ リスクマネジャーの配置・ 医療事故等調査委員会・ 院内相互チェックの実施	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有（2名）・無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（1名）・無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
<ul style="list-style-type: none">・ 所属職員： 専任（2）名 兼任（14）名・ 活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 医療事故防止委員会の運営に関すること・ 医療事故防止対策の立案に関すること・ 医療事故・ニアミス報告の分析に関すること・ リスクマネジャーとの連絡調整に関すること・ 安全管理に関する教育・研修の企画運営に関すること・ 医療事故相談に関すること・ その他医療事故の防止、医療の安全性の向上・医療の質の向上に関すること	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無

(様式第13-2)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<ul style="list-style-type: none">・ 指針の主な内容：<ol style="list-style-type: none">1) 院内感染対策に関する基本的な考え方2) 委員会について3) 感染制御部の業務内容4) 院内感染対策のための職員教育及び研修5) 感染症の発生状況の報告に関する基本方針6) 院内感染発症時の対応に関する基本方針7) 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針8) その他当院における院内感染対策の推進のために必要な基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年49回
<ul style="list-style-type: none">・ 活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 感染予防対策委員会 1回／月 合計12回・ リスクマネジャー会議（この中でICT全体会議と医療安全会議を行う） 1回／月 合計12回・ 感染制御部職員会議 1回／月 合計13回（5月のみ2回）以上3委員会は、それぞれ連携して以下の活動をする<ul style="list-style-type: none">① 耐性菌サーベイランス、侵襲的処置別感染症サーベイランス② 感染予防対策立案と指導、マニュアルの管理③ 抗菌薬使用の管理④ ICT（リスクマネジャーがICTメンバーを兼ねる）との連携⑤ 重症感染症、特殊感染症の診断及び治療に関するコンサルテーション⑥ 感染予防対策に関する教育及び研修の企画運営⑦ 針刺し、体液汚染事故に関するサーベイランスと事故への対応及び予防対策の立案指導⑧ その他医療従事者の感染予防と発症時の指導（結核、流行性疾患など）⑨ 医療廃棄物の取り扱いの管理と指導、環境整備に関する管理と指導⑩ その他の感染予防対策上の問題への関与・ 看護部感染対策委員会 1回／月 合計12回 手指衛生のコンプライアンスの測定と改善 感染防止の視点からの看護手順の作成 医療廃棄物の適切な処理の状況把握と指導	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年45回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：<ol style="list-style-type: none">1) 全職員対象院内感染対策講習会 3回／年（①、②は同じ内容で2回ずつ、③は1回、計5回）<ul style="list-style-type: none">① 針刺し事故防止について、結核の院内感染予防とトリアージ診療、スタンダードプロセション② 抗菌アレルギーへの対応、入院患者の尿路感染と予防策③ 院内感染につながる小児感染症2) 新規採用者研修 1回／年3) 中途採用者研修 3回／年4) 主に看護師対象感染防止技術研修会 10回／年 (内容) 感染予防対策に関する基本的な事項、Device関連の感染予防策、流行性疾患対策など5) 部署別手指衛生教育 23回／年 (内容) 手指衛生の重要性と方法6) 抗菌薬使用に関する勉強会 3回／年	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)・ その他の改善の方策の主な内容： その年のスローガンを決め、強化をする。 平成22年度は、手指衛生のコンプライアンスの改善をスローガンとし、手指衛生コンプライアンスの測定と、アルコール手指消毒剤の使用状況の把握、手洗いの洗い残しチェック（グリッターバグ使用）をするなど、手指衛生教育の充実を図った。	

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
・ 研修の主な内容： 平成 23 年 4 月 新規採用職員オリエンテーション－医療事故防止について(薬剤部)－ 平成 23 年 5 月 歯科研修医セミナー－歯科診療で安全に薬を使用するために－	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 手順書の作成 (有・無)・ 業務の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 医薬品の採用・購入に関すること・ 医薬品の管理に関するこ (麻薬を含む。)・ 患者の持参薬歴情報等の収集、処方せんの記載に関するこ・ 患者に対する与薬や服薬指導に関するこ・ 医薬品の安全使用に係る情報の取扱いに関するこ・ 他施設 (病院等、薬局等)との連携に関するこ・ I C Uにおける医薬品管理に関するこ	
実施状況については、業務手順書に基づき、各担当部署においてチェックリストを作成し、定期的(月1回程度)に実施状況の確認を行った。	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)・ その他の改善の方策の主な内容： 毎月、業務手順書に基づき、薬品情報室にて収集した情報を、情報誌(DI News)に掲載し、各診療科、中央診療施設、看護部に配布し情報提供を行った。 また、安全性情報はmailにて配信しており、特に重篤な情報は処方医宛に配信している。	

(様式第13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年187回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 定期研修<ol style="list-style-type: none">1. 人工心肺装置：体外循環装置の安全操作に関する実技講習会の受講(学会主催のもの)2. 人工呼吸器：機器の取り扱いと注意事項について3. 血液浄化装置：同上4. 除細動装置：同上5. 閉鎖式保育器：同上6. X線テレビ装置の安全性(新規導入機器使用説明会)7. MRI装置の安全性8. X線撮影装置の安全管理9. 放射線治療装置の安全管理10. 婦人科領域におけるRALS治療法(看護師対象)11. RALS線源交換及び線源強度公正方法(放射線技師対象)・ 新しい医療機器導入時の研修	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 計画の策定 (有・無)・ 保守点検の主な内容：<ol style="list-style-type: none">1. 人工心肺装置：定期点検(年1回), 日常点検(始業点検/終業点検)2. 人工呼吸器：定期点検(年2回), 使用前点検3. 血液浄化装置：定期点検(年2回), 使用前点検4. 除細動装置：定期点検(年2回)5. 閉鎖式保育器：定期点検(年2回)6. X線装置：定期点検(機種により年1~4回), 使用前点検7. 診療用放射線照射装置：定期点検(年2回)	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)・ その他の改善の方策の主な内容：<p>「輸液ポンプの使用状況を調査し、その結果を看護部長会を通じてスタッフへ報告・周知することで使用状況の改善を図る。」</p><p>「低圧持続吸引器の起こりやすい故障について調査し、取扱い上の注意点について看護部長会を通じてスタッフへ報告・周知する。」</p><p>「電気メスのフィンガースイッチアダプタと電撃保護B型機器の併用禁止に関する通知に対し、院内使用状況の調査、併用禁止について注意喚起をする。」</p>	